



2024年12月19日

報道関係者 各位

脊椎脊髄損傷の治療フロー「SCI-FLOW」を新たに策定

～脊椎脊髄損傷の新たな診療体制により患者の早期回復を目指す～

群馬大学医学部附属病院（群馬県前橋市）は、脊椎脊髄損傷の新たな診療体制として、多職種連携型の専門チームによる脊椎脊髄損傷の治療フロー「**SCI-FLOW（エスシーアイ・フロー）**」を策定し、運用を開始します。

1. 本件のポイント

- 群馬県内では、脊椎脊髄損傷の急性期治療（緊急手術など）を受け入れる施設が限られており、患者さんの搬送や治療体制に課題がありました。
- SCI-FLOW は、患者さんの救急搬送から診断、手術、集中治療までの流れを標準化し、治療を効率化します。
- 救急科、整形外科、脳神経外科、麻酔・集中治療科などの多職種の専門チームにより、患者さんの状態に応じた最適な治療を迅速に提供します。これにより、搬送や診療の遅れを防ぎ、患者さんの早期の機能回復や社会復帰の促進を目指します。

2. 本件の概要

脊椎脊髄損傷（せきついでせきずいそんしょう）は、交通事故や転倒、スポーツ中のけがなどで背骨が骨折・脱臼し、脊髄が損傷を受ける重いけがです。このけがは手足が動かせなくなるなど深刻な後遺症を引き起こすことがあり、発症直後の迅速で適切な治療が患者さんの回復に大きな影響を与えます。しかし、これまで群馬県内では、脊椎脊髄損傷の急性期治療を受け入れる施設が限られており、患者さんの搬送や治療体制に課題がありました。

群馬大学医学部附属病院では、これらの課題を解決するため、脊椎脊髄損傷の新たな治療フロー「**SCI-FLOW（エスシーアイ・フロー）**」を策定しました。SCI-FLOW は、患者さんの救急搬送から診断、手術、集中治療までの流れを標準化し、治療を効率化します。

具体的には、救急科、整形外科、脳神経外科、麻酔・集中治療科などの多職種の専門スタッフからなる診療チームが一丸となり、患者さんの状態に応じた最適な治療を迅速に提供します。これにより、搬送や診療の遅れを防ぎ、患者さんの早期の機能回復や社会復帰の促進を目指します。

このような多職種連携型の診療体制は全国的にも珍しく、群馬県では初めての試みです。患者さんご家族に安心して治療を受けていただけるよう、これからも体制の充実に努めてまいります。

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学医学部附属病院 整形外科 病院講師 高澤 英嗣（たかさわ えいじ）

【取材に関するお問合せ先】

群馬大学昭和地区事務部総務課広報・保健学庶務係

TEL : 027-220-7895

FAX : 027-220-7720

E-MAIL : m-koho@ml.gunma-u.ac.jp